

誕生40周年記念

「ANAモヒカンジェット」が20年ぶりに復活します!

ANAは、創立記念日でもある、来る12月1日(火)に、かつてのANAのコーポレートデザインであったモヒカンルックをあしらった「ANA モヒカンジェット」を復刻版機体デザインとして復活させます。

「ANA モヒカンジェット」は、1969年5月の1番塗装機以降、1989年3月の最終機の運航に至るまで約20年間、日本の空を就航しました。「ANA モヒカンジェット」は、垂直尾翼には、レオナルド・ダ・ヴィンチのヘリコプターの図案をモチーフにしたANAの社章も塗装されていました。

「ANA モヒカンジェット」の就航期間は、日本経済の高度経済成長期であり、大阪万国博覧会(1970年開催)、時代の象徴でもあった宮崎、鹿児島への新婚旅行など、航空機でのご旅行が一般的となった時代でもありました。また、純民間航空会社として創業したANAの事業拡大期の象徴でもありました。

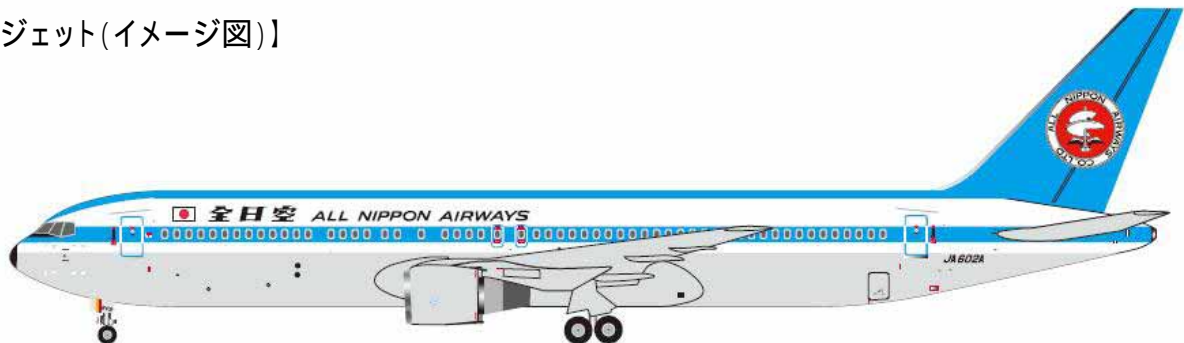
デザイン開始後40周年を迎える中、「航空機での旅行に多くの夢があった当時を思い出して頂き飛行機でのご旅行を楽しんで頂くと共に、社員としては、初心に立ち戻る象徴に!」という社員提案があり、ボーイング767型機での復活となりました。

復刻版の機体デザインは、日本の航空会社では初のことであり、2013年までの期間、日本の大空を飛び回ります。

12月は、羽田=宮崎線と羽田=鹿児島線を中心に運航を予定しております。これらの運航便を利用し、宮崎や鹿児島で当時のハネムーンの人気コースを再現したツアーなどの販売も行なっております。運航ダイヤなどの詳細につきましては、別紙ならびに「ANA モヒカンジェット」専用ページ(www.ana.co.jp/mohican)にてご確認ください。

以上

【モヒカンジェット(イメージ図)】



実物とは異なる場合もございます